

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市西多賀児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 21,020人(前年度比 111.6%) ・令和4年度 18,836人 ・令和3年度 17,734人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 43,463千円 (38,047千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館児童クラブサテライトの避難訓練等の実施回数が、放課後児童クラブ運営指針で定められている回数(年2回以上)を満たさなかった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、市民センターのホールを活用した運動遊びや工作遊びなど遊びの充実が図られており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>安心安全な居場所づくり「自主性や健康・情操を育む遊びや活動の場をたくさん提供すること」を目標とし取り組んできました。</p> <p>健全育成事業「手をつないで考えよう防災・減災」を市民センターと共催で行いました。西多賀SBL会の方を講師としてお迎えし、低学年児童は防災紙芝居「リオン」で備えの大切さを学び、中高学年児童は防災ランタン作りをとおして身近な物が災害時に役立つことを学びました。また、防災〇×クイズでは、災害時の安全な行動を学びました。今後も「命」を守る学びを続けていきます。</p> <p>子育て家庭支援事業では、太白区家庭健康課と連携し、保健師さんからトイレトレーニングについて学びました。参加者同士で不安や悩みについて情報交換し、保健師さんからは助言をもらえたことで、子育てへの安心感に繋がりました。自由来館や行事でも温かい交流の時間が持てたことは大変良かったです。</p> <p>地域交流推進事業では、「西多賀ふれあいまつり」のステージの部に、西多賀チアーズ（児童館のチアダンスクラブ）が出演し、地域の方々から盛大な拍手をいただきました。参加児童の笑顔からは、自信につながった様子がうかがえました。チアダンスは、近隣の聖和学園高等学校チアリーディング部の先生・生徒の方々からご指導をいただきました。「ハロウィンパレード」では、地域の商店会にご支援をいただき、児童がお店を回りながら交流し、顔の見える関係づくりが防犯にも役立ちました。今後も継続して活動し、地域を愛する心を育んでいきます。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、中高学年を中心に「ドッジボール大会」の計画を立て、みんなが楽しめる活動を行いました。自分たちで企画することで、やりがいを感じ、頼もしさが増してきました。下学年の児童も中高学年への憧れの気持ちを持ちました。今後も「夢いっぱい児童館」の運営を目指し職員一丸となって努力していきます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、身近な素材を使った自由に制作を楽しむ「つくっちゃお」や、麻ひもキーホルダーやリース作り等テーマを設けてじっくり制作を楽しむ「手作りタイム」を実施し、知的好奇心を満たしつつ制作活動の楽しさや達成感を感じられる支援を行い、自由来館児童の利用促進に繋がっている。「ジュニアリーダーとあそぼう」では、ゲームや工作等中学生の主導のもとで小学生と中学生が異年齢交流できるよう支援しながら、中学生の主体性や自己有用感を育んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、子育て支援クラブと共催でレジヤクリスマススワッグ作り等、保護者がリフレッシュできる場を提供している。令和5年度からクッキング活動も再開され利用増加に繋がった。市民センターとの共催の「子育て講座」は乳幼児から小学生の保護者を対象に開催している。令和5年度は利用者アンケートを基に講座の内容を決定し、利用者のニーズに合った多彩な内容は好評を得ており、地域における子育て家庭支援の役割を果たしている。</p> <p>地域交流推進事業においては、ハロウィンパレードを小学生を対象にして再開した。形を変えながら継続し地域との交流が途切れないように努めてきたことで以前同様の協力を得て開催しており、子ども達が地域の方やお店を知りながら交流を深める機会となっている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、高学年を中心とした「子ども会議」開催して、自分達の生活や遊び等について話し合う機会を提供している。ドッジボール大会、お楽しみ会等のイベントの企画運営と共に、遊戯室での遊びの時間や内容を決めたり、普段の遊びの中でマンカラ大会やカードゲーム大会を開催できるよう環境を整えるなど子どもの意見が実現できる支援を行い、自主性や社会性を育んでいる。</p>	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課